



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月26日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6807 URL http://www.jae.com  
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	59,440	62.0	4,041	182.3	3,811	—	2,794	691.3
29年3月期第1四半期	36,694	△24.5	1,431	△78.1	279	△95.6	353	△92.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,096百万円( —%) 29年3月期第1四半期 △2,913百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	30.75	30.74
29年3月期第1四半期	3.89	3.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	183,468	111,706	60.8
29年3月期	183,196	109,022	59.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 111,582百万円 29年3月期 108,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	33.5	8,000	93.1	7,000	165.3	5,000	137.7	55.03
通期	230,000	9.8	16,000	32.7	14,000	52.9	10,000	48.4	110.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. (3) 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	92,302,608株	29年3月期	92,302,608株
30年3月期1Q	1,413,020株	29年3月期	1,445,174株
30年3月期1Q	90,868,866株	29年3月期1Q	90,850,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 6
(連結の範囲の重要な変更)	P 6
(継続企業の前提に関する注記)	P 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 6
(セグメント情報等)	P 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では堅調な雇用情勢を背景に拡大基調が継続した他、欧州でも緩やかな景気拡大が続きました。アジアでは中国において雇用・所得環境の改善や設備投資の回復によって持ち直しの動きがみられ、わが国においても景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、携帯機器市場の成長率が減速する中でもスマートフォンの出荷台数は高い水準で推移した他、自動車市場も北米で減速が見られたものの概ね堅調に推移しました。また、産業機器市場は引き続き回復基調となりました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、成長市場・機器に対し、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の更なる強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。その結果、前第1四半期連結累計期間には所要減少の影響を受けた携帯機器において、前年度後半以降の高水準の売上高が継続したことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、594億40百万円（前年同期比162%）、利益面においては、営業利益40億41百万円（前年同期比282%）、経常利益38億11百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益27億94百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少がありましたが、売上債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加の1,834億68百万円となりました。

負債は、主として未払費用やデリバティブ債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べ24億12百万円減少の717億61百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ26億84百万円増加の1,117億6百万円となり、自己資本比率は60.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想（第2四半期累計期間、通期）及び配当予想（第2四半期末、期末）につきましては、平成29年4月26日に公表いたしました予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,529	34,270
受取手形及び売掛金	42,112	43,125
たな卸資産	16,140	17,854
繰延税金資産	1,893	2,007
その他	7,766	8,235
貸倒引当金	△90	△98
流動資産合計	104,353	105,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,059	23,988
機械装置及び運搬具(純額)	22,894	22,799
工具、器具及び備品(純額)	8,224	8,062
土地	5,791	6,085
建設仮勘定	6,130	5,644
有形固定資産合計	67,100	66,580
無形固定資産	3,094	3,111
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,546	2,721
その他	6,241	5,799
貸倒引当金	△139	△139
投資その他の資産合計	8,648	8,381
固定資産合計	78,843	78,073
資産合計	183,196	183,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,184	39,467
短期借入金	8,118	8,118
未払法人税等	1,495	1,251
取締役賞与引当金	60	25
その他	10,840	8,652
流動負債合計	59,698	57,514
固定負債		
長期借入金	11,451	11,451
退職給付に係る負債	2,392	2,146
その他	631	648
固定負債合計	14,475	14,246
負債合計	74,174	71,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,498	14,505
利益剰余金	82,958	85,313
自己株式	△1,089	△1,066
株主資本合計	107,058	109,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,169
為替換算調整勘定	783	829
退職給付に係る調整累計額	134	140
その他の包括利益累計額合計	1,837	2,139
新株予約権	126	124
純資産合計	109,022	111,706
負債純資産合計	183,196	183,468

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	36,694	59,440
売上原価	30,193	49,981
売上総利益	6,500	9,459
販売費及び一般管理費	5,069	5,418
営業利益	1,431	4,041
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	45	63
為替差益	—	81
その他	22	29
営業外収益合計	80	188
営業外費用		
支払利息	19	21
固定資産除却損	109	386
為替差損	1,036	—
その他	65	9
営業外費用合計	1,231	417
経常利益	279	3,811
税金等調整前四半期純利益	279	3,811
法人税、住民税及び事業税	△25	1,071
法人税等調整額	△48	△53
法人税等合計	△73	1,017
四半期純利益	353	2,794
親会社株主に帰属する四半期純利益	353	2,794

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	353	2,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△236	250
為替換算調整勘定	△3,065	45
退職給付に係る調整額	35	5
その他の包括利益合計	△3,266	301
四半期包括利益	△2,913	3,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,913	3,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であった盟友技研(株)は、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	32,389	1,774	2,378	152	36,694	—	36,694
セグメント利益 又は損失(△)(注)1	2,639	206	△305	71	2,611	△1,180	1,431

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費1,180百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	55,024	2,103	2,115	197	59,440	—	59,440
セグメント利益 又は損失(△)(注)1	5,002	221	△168	87	5,143	△1,102	4,041

(注)1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費1,102百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。